

平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 明治海運株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9115 URL <https://www.meiji-shipping.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長CEO (氏名)内田 和也
 問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員 (氏名)水野 敏郎 (TEL)03-3792-0811
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	20,087	2.8	1,931	△19.9	2,117	9.6	950	48.4
30年3月期第2四半期	19,548	12.3	2,409	△16.4	1,932	10.0	640	82.6

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1,784百万円 (—%) 30年3月期第2四半期 782百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	29.04	—
30年3月期第2四半期	19.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	150,381	37,802	10.6
30年3月期	153,511	36,203	9.9

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 15,967百万円 30年3月期 15,265百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	5.00	5.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 現時点では、平成31年3月期の期末配当予想額は未定です。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,600	△0.4	4,100	△26.7	2,500	△44.3	1,200	△33.7	36.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

31年3月期2Q	36,000,000 株	30年3月期	36,000,000 株
31年3月期2Q	3,263,245 株	30年3月期	3,263,245 株
31年3月期2Q	32,736,755 株	30年3月期2Q	32,736,755 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、概ね順調な回復を続けています。米国経済は、法人税減税により企業収益の改善が見込まれ、また、個人消費も良好な雇用環境と所得税減税により順調な状況が続きました。欧州経済も、主に輸出増加等により、主要国は総じて良好な景気回復を続けています。中国では成長率は鈍化する見通しですが、その他のアジア新興国経済は緩やかに回復しています。

我が国経済は、企業収益は堅調、雇用・所得環境も改善が続き、景気は回復基調が持続しています。

このような経済状況のもと、外航海運業は、タンカー市況では引き続き厳しい状況が続いているものの、バルカー市況には回復の兆しがみられます。

大型タンカー市況は、昨年引き続き年初から弱含みで推移し、本年5月には記録的な低さであった昨年を下回る水準に一時落ち込みました。一方で、VLCCを中心に記録的な数のタンカーのスクラップが報告されると同時に新造船供給圧力は弱まり、船腹需給は徐々に改善に向かうものと予想されます。

石油製品船は軟調な市況が続き、足元では依然として船腹供給過多の状態にありますが、開発途上国の需要増を背景として今後徐々に回復が見込まれます。

大型LPG船においても、低調な市況が続き、今年度に入りわずかながらの上昇がみられますが、依然として新造船の供給圧力が高いことが要因となり、十分な回復までには至っていません。

バルカー市況は、船型によって状況が異なり、ケープサイズバルカーでは、3月に一時極めて低い水準まで落ち込んだもののその後急回復し、概ね過去3年間を上回る水準に回復しています。中小型船型については、需給環境の改善により大型船に比して安定的な上昇がみられます。

自動車船市況は、4月に一時的な下落を見たものの、北米向、欧州向及びアジア地域への堅調な輸送需要を背景に、足元は例年並みの水準に回復しています。

コンテナ船市況は、荷動きは堅調に推移していますが、大型船の市場への投入が続いていることにより船腹需給の先行きが懸念されます。一方で、コンテナ船社同士の吸収合併、事業統合の進展の動きが活発となり、市況の安定化に寄与することが期待されます。

当社グループの外航海運業部門は、平均為替レートが前年同四半期比円高となったものの、前連結会計年度に竣工した新造船がフル稼働したこともあり、売上高は14,171百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。一方費用面では、前年同四半期比で入渠隻数が増加したこと等から、外航海運業利益は1,395百万円（前年同四半期比30.6%減）となりました。

ホテル関連事業部門は、宿泊部門ほか各部門とも堅調に推移し、売上高は5,649百万円（前年同四半期比1.7%増）となりました。費用面では、前年同四半期比で大規模修繕費が低減したことから、ホテル関連事業利益は379百万円（前年同四半期比52.5%増）となりました。

不動産賃貸業部門は、売上高は265百万円（前年同四半期比1.1%増）、不動産賃貸業利益は155百万円（前年同四半期比3.1%増）と堅調に推移しています。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、20,087百万円（前年同四半期比2.8%増）、営業利益は1,931百万円（前年同四半期比19.9%減）となりました。経常利益は、前年同四半期より為替差益が増加したこと等から、2,117百万円（前年同四半期比9.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は950百万円（前年同四半期比48.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の部は、前連結会計年度末より3,130百万円減少し、150,381百万円となりました。これは主に船舶など有形固定資産の減価償却によるものです。

負債の部は、前連結会計年度末より4,729百万円減少し、112,578百万円となりました。これは主にリース債務および借入金の減少によるものです。

また、純資産の部は、前連結会計年度末より1,599百万円増加し、37,802百万円となりました。これは主に利益剰余金および非支配株主持分の増加によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローにおいては、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて1,344百万円減少し、17,398百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によって得られた資金は、6,087百万円(前年同四半期比1.4%減)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益2,173百万円に、減価償却費4,982百万円を加算し、その他非資金項目を加減算した結果です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動に支出した資金は、3,514百万円(前年同四半期は16,187百万円の支出)となりました。これは主に新造船建造費等の有形固定資産の取得による支出が要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動に使用した資金は、3,686百万円(前年同四半期は10,848百万円の収入)となりました。これは主に長期借入金および社債発行による収入6,089百万円と、長期借入金、リース債務の返済および社債の償還による支出9,159百万円との差額3,069百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しまして、第2四半期決算を踏まえ見直しを行った結果、平成30年5月15日公表時の数値から変更はありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる場合があります。今後業績予想等の修正が必要となった場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,769,596	17,424,766
売掛金	838,358	750,122
商品及び製品	28,253	28,144
原材料及び貯蔵品	746,169	633,510
その他	2,426,713	2,649,885
流動資産合計	22,809,090	21,486,429
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	93,521,014	88,272,956
建物及び構築物(純額)	12,501,130	12,461,517
土地	8,430,474	8,638,565
建設仮勘定	2,198,625	5,052,150
その他(純額)	576,809	515,404
有形固定資産合計	117,228,055	114,940,594
無形固定資産		
その他	87,528	95,199
無形固定資産合計	87,528	95,199
投資その他の資産		
投資有価証券	10,513,094	10,828,139
長期貸付金	833,220	896,200
繰延税金資産	1,006,323	1,034,676
その他	1,034,348	1,100,004
投資その他の資産合計	13,386,986	13,859,021
固定資産合計	130,702,570	128,894,815
資産合計	153,511,660	150,381,245

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	1,451,677	1,683,367
1年内償還予定の社債	1,172,000	1,184,000
短期借入金	28,278,036	28,224,027
リース債務	2,275,872	177,674
未払金	905,757	790,104
未払法人税等	385,254	313,057
賞与引当金	45,368	162,436
その他	3,071,080	3,024,723
流動負債合計	37,585,047	35,559,391
固定負債		
社債	3,236,500	3,120,000
長期借入金	67,174,489	64,749,249
リース債務	2,562,758	2,422,766
繰延税金負債	370,796	227,108
再評価に係る繰延税金負債	1,043,086	1,043,086
引当金		
役員退職慰労引当金	238,771	235,494
特別修繕引当金	1,526,327	1,851,490
引当金計	1,765,099	2,086,984
退職給付に係る負債	340,992	350,487
持分法適用に伴う負債	1,047,202	1,050,451
その他	2,182,548	1,969,443
固定負債合計	79,723,473	77,019,577
負債合計	117,308,520	112,578,969
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,800,000	1,800,000
資本剰余金	21,128	21,128
利益剰余金	10,736,493	11,507,092
自己株式	△675,520	△675,520
株主資本合計	11,882,102	12,652,701
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	625,473	658,213
繰延ヘッジ損益	△321,616	△218,160
土地再評価差額金	1,906,276	1,906,276
為替換算調整勘定	1,173,573	968,791
その他の包括利益累計額合計	3,383,706	3,315,120
非支配株主持分	20,937,331	21,834,454
純資産合計	36,203,140	37,802,276
負債純資産合計	153,511,660	150,381,245

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	19,548,908	20,087,265
売上原価	15,339,038	16,152,321
売上総利益	4,209,870	3,934,943
販売費及び一般管理費	1,799,976	2,003,824
営業利益	2,409,893	1,931,119
営業外収益		
受取利息	30,308	40,609
受取配当金	33,413	75,837
為替差益	5,321	583,460
持分法による投資利益	295,864	363,934
その他	204,138	127,212
営業外収益合計	569,046	1,191,054
営業外費用		
支払利息	785,638	900,148
その他	260,991	104,520
営業外費用合計	1,046,630	1,004,668
経常利益	1,932,309	2,117,504
特別利益		
その他	—	55,670
特別利益合計	—	55,670
税金等調整前四半期純利益	1,932,309	2,173,174
法人税、住民税及び事業税	311,897	296,755
法人税等調整額	△153,927	△165,403
法人税等合計	157,970	131,352
四半期純利益	1,774,339	2,041,822
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,133,976	1,091,282
親会社株主に帰属する四半期純利益	640,362	950,539

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,774,339	2,041,822
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,944	9,500
繰延ヘッジ損益	△125,821	138,942
為替換算調整勘定	△584,957	△343,596
持分法適用会社に対する持分相当額	△308,854	△62,511
その他の包括利益合計	△991,689	△257,665
四半期包括利益	782,650	1,784,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215,295	881,953
非支配株主に係る四半期包括利益	567,354	902,203

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,932,309	2,173,174
減価償却費	4,623,548	4,982,784
受取利息及び受取配当金	△63,722	△116,447
有形固定資産除売却損益(△は益)	107,546	2,530
支払利息	785,638	900,148
為替差損益(△は益)	26,413	△554,529
デリバティブ評価損益(△は益)	△76,321	△24,031
匿名組合投資損益(△は益)	△4,344	△5,098
持分法による投資損益(△は益)	△295,864	△363,934
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△13,650	△3,277
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	20,004	9,494
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	174,232	325,162
前受金の増減額(△は減少)	△30,586	△95,854
たな卸資産の増減額(△は増加)	41,486	112,767
未収消費税等の増減額(△は増加)	△66,579	△22,759
海運業未払金の増減額(△は減少)	203,860	231,690
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△314,977	△264,172
その他	150,319	△14,468
小計	7,199,313	7,273,180
利息及び配当金の受取額	104,303	77,214
利息の支払額	△837,475	△954,539
法人税等の支払額	△290,139	△308,349
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,176,001	6,087,506
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,556,174	△3,587,735
有形固定資産の売却による収入	6,436,817	913
定期預金の預入による支出	△41,000	△26,000
定期預金の払戻による収入	41,000	26,000
投資有価証券の取得による支出	△58	△58
投資有価証券の売却による収入	7,024	—
貸付けによる支出	△72,838	△120,000
貸付金の回収による収入	—	220,900
その他	△1,859	△28,486
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,187,089	△3,514,466

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,740,000	△452,968
長期借入れによる収入	22,825,056	5,600,720
長期借入金の返済による支出	△12,766,973	△6,316,327
社債の発行による収入	682,448	488,960
社債の償還による支出	△605,500	△604,500
配当金の支払額	△179,252	△179,304
非支配株主への配当金の支払額	△653,080	△5,080
リース債務の返済による支出	△266,197	△2,238,190
その他	72,415	20,483
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,848,916	△3,686,205
現金及び現金同等物に係る換算差額	△270,692	△231,663
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	567,136	△1,344,829
現金及び現金同等物の期首残高	14,452,937	18,743,596
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,020,073	17,398,766

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	外航海運業	ホテル関連事業	不動産賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,733,046	5,553,224	262,637	19,548,908	—	19,548,908
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	13,733,046	5,553,224	262,637	19,548,908	—	19,548,908
セグメント利益	2,010,061	248,701	151,131	2,409,893	—	2,409,893

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	外航海運業	ホテル関連事業	不動産賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,171,988	5,649,684	265,592	20,087,265	—	20,087,265
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,171,988	5,649,684	265,592	20,087,265	—	20,087,265
セグメント利益	1,395,971	379,380	155,767	1,931,119	—	1,931,119

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。